

発行日 2000年4月1日  
発行元 株式会社  
オリジン・コーポレーション  
代表取締役：杉井保之  
〒426-0044 静岡県藤枝市大東町777-1  
TEL 054-636-4300 FAX 054-636-6187  
E-mail origin@shizuokanet.ne.jp

# こおろぎ

## 行動しよう！

3月11日、12日に行った「建設的な生き方を学ぶ会」に、社員さんと参加して下さった社長さんから、次のようなお礼の手紙をいただきました。

「建設的な生き方を学ぶ会」本当にありがとうございました。参加した感想を社員さん達に書いてもらうようにしたところ、若手にあおられ、あきらめかけて見えだ社員さんが一番に持って来てくれました。その内容がとても嬉しかったので杉井さんに報告します。

鍵山先生の講演を聞いて一番心に残ったことは、『努力を生かす』ということでした。日々、自分なりに努力をしているつもりでも「本当は実にならない努力をしているのではなにか」と感じることもよくあります。「それが実になるか、ならないか」ということを勝手に自分で判断して決めつけている気がします。そんなことを考え立ち止まっている自分を見ては責めたくて仕方ありません。本当はもっと自分を大切にしていればならぬのに、今は自分を責めることで気を紛らわすしかないのです。しかし、今回参加して、今まで忘れていた「止まらず、歩き続ける」という杉井さんの言葉を思い出させてもらいました。私にとってすごくためになったので、参加費を同封させてもらいます。もう一度、目の前にある問題に素直に向かい合い、努力していこうと思います。

皆さんからはどう見えるかわかりませんが、私自身、子供のころから今日まで「こんな努力で、どうにかなるのだろうか?」「今更やったって、やっぱり俺じゃダメなんじゃないのか?」という気持ちの繰り返しでした。ですからこの感想文を書いた方の気持ちが痛いほどわかる気がします。

ただ、私の場合運が良かったのは、「転職する」という選択肢がなかったことだと思います。もし私が勤め人だったら、きっと早い時点で転職をしていたことでしょう。

最近「不況」と言われてはいますが、まだまだ日本は豊かで、「この仕事を辞めたら食べていけない」というようなことはありません。そのため自分の好みに合えば、割りと簡単に転職出来てしまい、かえって今あることに賭け切れず、自分の本気を出し切れずに終わってしまう人が多い気がします。

今回のような会を主催する者になると、この感想文を書いてくれた方のように、たった一人でも「もう一度自分を大事にしよう」と思って歩き出す人がいてくれたら、これほど嬉しいことはありません。彼にこの感想文を書く力を与えて下さった鍵山先生には心から感謝いたします。

また、この感想文を書かれた方には、ここに書かれた気持ちを一時の感情で終わりにするのではなく、「朝、皆より早く出勤して元気に迎える」とか、「会社の車を洗車する」などの具体的な行動を是非試してみてくださいと心から思います。何をやるかはその方の判断ですが、こうしたことを一貫する姿だけでも、きっと周りの人を勇気づけ、人生を拓いていくと思うのです。

色々な会に参加したり勉強しても、それで満足し良い気持ちになるだけなら、遊びと同じです。私は「建設的な生き方を学ぶ会」を、そうした会にしたいと思っているので、今回参加された方達にも、右の課題をお出しました。

中国の「大学」にも「本から学ぶのは下、人から学ぶのは中、事実から学ぶのは上」と書かれていますが、人の話も参考になりますが、うっかりすると人に答え(安心)を求める「依存」の恐れもあると思います。自分が行動してみて、それをよく検証し、そこから学んでいけるようになりたいものだと思います。

## 人生を狙う

4月2日に「日本平マラソン(10Kmの部)」に参加して来ました。私はもともと長距離を走ることが嫌いで、あんな苦しいことをする人の気持ちが全くわかりませんでした。しかし、以前「こおろぎ48号」で紹介した馬淵君の年賀状に「夢である日本平マラソンに、今年挑戦しようと思う」と書かれていたので、私も参加することにしたのでした。

(馬淵君は、高校2年生の時に、無免許の車にはねられ身体に大きな障害を負ってしまったのですが、「ハンデがあるから」と、毎朝始業の1時間前から働いて正社員の座を手にした青年です。)

とは言っても、意志の弱い私のことですから、一人では練習が続きそうにありませんし、練習しなければ試合にも参加しなくなります。そこで他の仲間も誘って皆で参加することにしました。

一人ではしたくない練習も、皆で走ると思うと、やはり自分だけ見苦しい姿を見せたくないと思いますし、出来ることなら一番でゴールしたいという色気もあって、結構練習するものです。こうして練習を積み重ねて行くと、勝ち負けよりも、皆で走ること自体が楽しみになってくるのです。

実際の人生(仕事)も、それが好きか嫌いかわかり、ゴール(期限)を明確にして、本気で狙ってみると面白くなっていくものかも知れません。その時、一緒に走る(競り合う)仲間がいたり、応援してくれる仲間がいたら、一層頑張れるものだと思います。

会社をやってくる中で、お金ばかりを追っていた頃には、青空の下、桜の花の中を精一杯走る喜びなど、ずっと忘れていた気がします。豊かになろうとお金を追いながら、かえって人生を貧しくし、お金で買える楽しみしか見えなくなっていたのかも知れません。

今回、懸命に走る馬淵君の姿を見て、「私はいつの間にか、挑戦もせずに、ただ漫然と生きてしまっていたのではないか?」と深く考えさせられました。

「皆さんは、何かの夢に向かって挑戦していますか?」私は一度きりの人生を、精一杯狙ってみたいと思います。結果ではなく、精一杯挑戦したとき人生が面白くなると思うのです。今年、トライアスロンとフルマラソンに挑戦します。

### 今月の活動情報

お問い合わせはお電話で...

日程	内容	主催者・会場
4 / 1~2	経営塾「人生が変わる人、変わらない人」	(オリジン)
4 / 2 (日)	日本平マラソン	
4 / 5 (水)	「お店における人間関係」	(モスバーガー共栄会)
4 / 8 (土)	幸田はがき人の集い	(吉見会計)
4 / 15~16	ランチェスター戦略	(羽田会計・安心サービス)
4 / 21 (金)	「青年リーダーになる為に」	(中部プラントサービス)
4 / 21~23	青年塾	(大正村)
4 / 25~26	ソニー生命営業マン研修	(磐田福田荘)
4 / 27 (木)	「30点からの出発」	(藤枝市立青島北中学校)

### 「建設的な生き方を学ぶ会」参加者課題

- この研修に参加することを支えてくれた人を30人リストアップして、そのうちの一人に「ありがとう」の葉書を書く。
- まだ伝えていない「ごめんなさい」の手紙を書く。
- 誰にも知られないように、誰かにサービスをする。
- 今日で死ぬとしたら、誰に何を言いたい? (一人だけ)
- 参加者の方にしてもらったことを見つけ、「ありがとう」のメッセージカードを5枚書く。
- 席を立つとき、自分の痕跡を残さない。

トイレ掃除の会場を提供して下さいました「飯田小学校」のPTA会長の鈴木厚志さんは、卒業生一人一人に複写はがきで、卒業祝いを書かれたそうです。本当に嬉しい「掃除に学ぶ会」になりました。